

## 自分たちの手で楽しく元気な学校を

### ～有意義だった代表委員会～

5月17日(金)、代表委員会が行われ、運営委員会と3年生以上の学年代表が出席しました。この日の議題は、「児童会のテーマを決めよう」「今年度の児童会の取組を決めよう」の2つです。運営委員会から事前に内容を提案され、この日までに各学級で2つの議題について話し合われたようです。そして、その時に出された意見を、学年代表がこの会に持ち寄りました。

「児童会のテーマを決めよう」では、児童会からは、“進んで取り組む大田っ子”が提案されていました。すると、3学年から「みんなが明るく元気だと、みんなが楽しくなるから、“進んで元気に取り組む大田っ子”ではどうだろうか」という意見が出されました。これを受け、どの学年も賛成し、今年度の児童会テーマは、“進んで元気に取り組む大田っ子”に決定しました。

「今年度の児童会の取組を決めよう」では、運営委員会から4つの取組が提案されました。一つ目は“きづく子の実”“かしい木の実”“やさしい実”“たくましい実”のなる『大田っ子の木を育てよう』というもので、学校のめざす子ども像と合致しています。二つ目は、『生活のめあてを決めよう』というもので、学校生活をきまりよく過ごすために必要なものです。三つ目は、『全校遊びとなかよし班遊び』の取組で、全校でなかよく楽しむことで学校生活に親しみと次への活力を与えるものです。四つ目は、『あいさつ運動』の取組で、より生活に潤いを与え、円滑にしていくものです。各学年から、それぞれの提案の取組に対し、「大田っ子の木を育てていきたい」「生活のめあては、全校で一つのことをがんばることができる」「みんなで遊ぶと楽しいし、なかよくなりしたい」「あいさつは、元気よく朝をむかえることができる」等の賛成の意見が出され、原案通りに決定しました。



学校生活をより豊かにしていくために、子どもたちの手で考え、共有できた大変意義深い代表委員会となりました。23日(木)には、早速なかよし班遊びがあり、また、

大田っ子の木に実が少しずつつき始め、今年度の児童会の取組が始動しています。

## ～なかよし班遊び～

5月23日(木)、8時20分より、なかよし班遊びが行われました。1・2班は、体育館でおにごっこを、3・4班は運動場でけいどう遊びをしました。みんな笑顔で元気に走り回っています。

体育館でのこと。おにごっこで1年生があてられ、おにになってしまいました。上級生をあてようとするのですが、上手に逃げられてしまい、なかなかあてることができません。その様子に気づいた6年生。逃げるスピードをぐっと落とします。おにになった1年生は、6年生に近づきタッチ！急いで次のおにとなった6年生から離れ逃げていきます。異学年での遊びの中にあっても、このように温かい関わりも見られたすてきな時間となりました。次回をみんな楽しみにしているようです。



## 地域に支えられて

### ～大田ふるさとづくり協議会～

5月14日(火)、大田ふるさとづくり協議会理事会がありました。その折に、学校の運動場の草刈りまでなかなか手が回らない状況にあり、助けていただけないだろうかとお話させていただいたところ、「言ってくれたら、手伝うで！」との温かいお言葉を、何人もの方からいただきました。地域の皆様が、大田の宝である子どもたちのために惜しみなく協力しようとするお気持ちを、大変ありがたく思いました。また同時に、本校が地域の皆様に支えられた、まさに、“地域とともにある大田小学校”であると強く感じずにはられませんでした。

地域の皆様の思いや期待をしっかりと受け止め、我々教職員一同、学校教育目標にある子ども像の姿をめざし、一丸となって尽力してまいります。